

殿

骨材試験報告書

平成 年 月 日

工 事 名

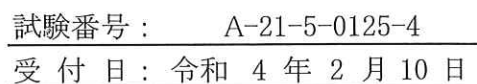
工事場所

製 品 名

福井市志比口3丁目2番14号 はさきビル2階

久米田砕石株式会社





〔 7号碎石 (S-5) 〕

試験結果は、本報告書のとおりであることを証明します。

令和 4 年 4 月 1 日

J N L A 認定登録試験事業者

株式会社 M・T 技研 中央材料研究所
福井県鯖江市二丁掛町第7号6番地

TEL : 0778-62-1000 FAX : 0778-62-7723

発行責任者 所 長 小 林 宏 成



骨材試験結果一覧表

依頼者	会社名	久米田碎石株式会社
	所在地	福井県福井市志比口3丁目2番14号
申依頼 請事者 項	試料採取日	令和4年2月10日
	試料採取場所	骨材堆積場
	試料採取者	今村 嘉孝
試料搬入日		令和4年2月10日
試験日		令和4年2月12日 ～ 令和4年3月31日

試験体種類		産地
粗骨材	7号碎石(S-5)	福井県坂井市丸岡町上久米田37字

試験項目			試験結果
ふるい分け試験	JIS A 1102	粗粒率	5.05
微粒分量試験	JIS A 1103	微粒分損失質量 %	0.4
単位容積質量試験	JIS A 1104	単位容積質量 kg/l	1.54
		実積率 %	57.9
有機不純物試験	JIS A 1105	標準色に比較して	—
密度及び吸水率試験	JIS A 1109 JIS A 1110	表乾密度 g/cm ³	2.70
		絶乾密度 g/cm ³	2.66
		吸水率 %	1.42
すりへり試験	JIS A 1121	すりへり減量 %	17.0
安定性試験	JIS A 1122	安定性損失質量 %	2.6
粘土塊量試験	JIS A 1137	粘土塊量 %	0.00
骨材中の塩化物量試験	JIS A 1144	塩化物含有率 %	—
粒形判定実積率試験	JIS A 5005	粒形判定実積率 %	—
技術管理者		榎田 直也	
試験担当者		榎田 直也	

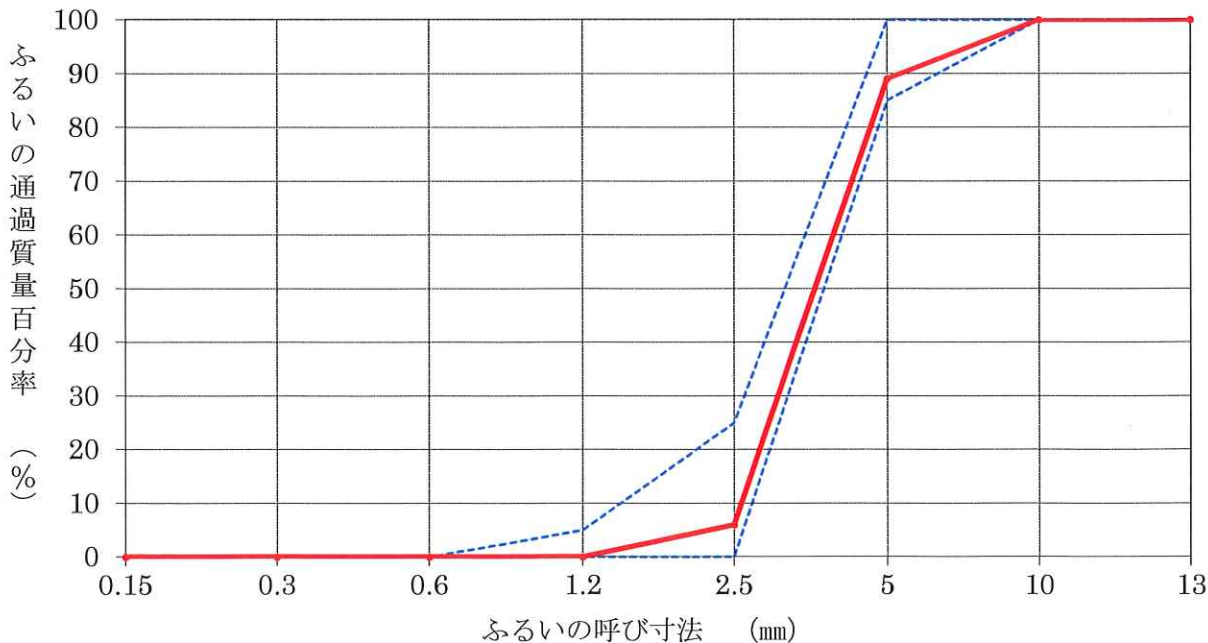
試験規格 JIS A 1102

骨材のふるい分け試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

試験日	令和 4 年 2 月 15 日			
試験料	種類	7号砕石(S-5)	最大寸法	5mm
	産地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字		
	採取日	令和 4 年 2 月 10 日		
	採取場所	骨材堆積場		
ふるい分け方法	手動	ふるい分け前の質量	1214.4	
ふるいの呼び寸法 (mm)	連続する各ふるいの間にとどまる試験料の質量 (g)	連続する各ふるいの間にとどまる試験料の質量分率 (%)	各ふるいにとどまる質量分率 (%)	各ふるいを通過する質量分率 (%)
(13)	0.0	0	0	100
10	0.0	0	0	100
5	130.5	11	11	89
2.5	1002.1	83	94	6
1.2	72.4	6	100	0
0.6	2.4	0	100	0
0.3	2.5	0	100	0
0.15	1.7	0	100	0
受け皿	1.8	0	100	0
合計	1213.4	100	—	—
試験前後の質量差 (%)	0.08	粗粒率	5.05	

粒度曲線図



試験規格 JIS A 1103

骨材の微粒分量試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 4 年 2 月 15 日	
試 料	種 類	7号碎石 (S-5)	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 4 年 2 月 10 日	
	採 取 場 所	骨材堆積場	
試 験 回 数		1	2
洗う前の試料の乾燥質量 (g)	m_1	1155.5	1149.6
洗った後の試料の乾燥質量 (g)	m_2	1151.4	1144.9
骨材の 微粒分量	$= \frac{m_1 - m_2}{m_1} \times 100$ (%)	A	0.4
2回の試験の平均値 (%)	$\bar{A}$	0.4	
平均値からの差 (規格値:0.2%以下)		0.0	

試験規格 JIS A 1104

骨材の単位容積質量及び実積率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 4 年 3 月 31 日	
試 料	種 類		7号碎石 (S-5)	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 4 年 2 月 10 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
単位容積質量	容器の質量	(kg) (1)	0.908	0.908
	容器の容積	(l) V	2.001	2.001
	(容器＋試料)の質量	(kg) (2)	3.984	3.989
	試料の質量 = (2)－(1)	(kg) m ₁	3.076	3.081
	単位容積質量 = $\frac{m_1}{V}$	(kg/l) T	1.54	1.54
	2回の試験の平均値	(kg/l) $\overline{T}$	1.54	
	平均値からの差 (規格値:0.01kg/l以下)		0.00	
実積率	試料の絶乾密度	(g/cm ³) d _D	2.66	
	実積率 = $\frac{\overline{T}}{d_D} \times 100$	(%) G	57.9	

試験規格 JIS A 1110

粗骨材の密度及び吸水率試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日			令和 4 年 2 月 25 日	
試 料	種 類		7号碎石(S-5)	
	産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日		令和 4 年 2 月 10 日	
	採 取 場 所		骨材堆積場	
試 験 回 数			1	2
表乾密度	表乾状態の試料の質量 (g)	m_1	1151.9	1164.9
	試料とかごの水中の見掛けの質量 (g)	m_2	932.4	940.3
	金網かごの水中質量 (g)	m_3	206.1	206.1
	試験温度における水の密度 (g/cm ³)	ρ_w	試験水の温度	20 ℃
			0.9982	
	表乾密度 = $\frac{m_2 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D_s	2.70	2.70
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\overline{D}_s$	2.70	
平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00	
絶乾密度	絶乾状態の試料の質量 (g)	m_4	1135.7	1148.7
	絶乾密度 = $\frac{m_4 \times \rho_w}{m_1 - (m_2 - m_3)}$ (g/cm ³)	D_d	2.66	2.66
	2回の試験の平均値 (g/cm ³)	$\overline{D}_d$	2.66	
	平均値からの差 (規格値:0.01g/cm ³ 以下)			0.00
吸水率	吸水率 = $\frac{m_1 - m_4}{m_4} \times 100$ (%)	Q	1.43	1.41
	2回の試験の平均値 (%)	$\overline{Q}$	1.42	
	平均値からの差 (規格値:0.03%以下)			0.01

水の温度と密度					
温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)	温度 (°C)	密度 (g/cm ³)
15	0.9991	19	0.9984	23	0.9975
16	0.9989	20	0.9982	24	0.9973
17	0.9988	21	0.9980	25	0.9970
18	0.9986	22	0.9978	—	—

試験規格 JIS A 1121

ロサンゼルス試験機による粗骨材のすりへり試験

試験担当者： 榎田 直也

試 験 日				令和 4 年 3 月 3 日			
試 料		種 類		7号砕石(S-5)			
		産 地		福井県坂井市丸岡町上久米田37字			
		採 取 日		令和 4 年 2 月 10 日			
		採 取 場 所		骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		粒度区分	球の数	回転数	試験前の 各群の質量 (g)
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの					
		質量	質量百分率				
(mm)	(mm)	(g)	(%)	A～G	6～12	500または1000	m ₁
2.5	—	80.8	7				
5	2.5	1002.1	82				5000
10	5	130.5	11				
15	10	0.0	0				
20	15	—	—				
25	20	—	—				
40	25	—	—				
50	40	—	—				
60	50	—	—				
80	60	—	—				
合 計		1213.4	100	D	6	500	5000
試験後1.7mmふるいに残った試料の質量		(g)	m ₂	4152			
すりへり損失質量		m ₁ －m ₂	(g)	848			
すりへり減量		$\frac{m_1-m_2}{m_1} \times 100$		(%)			
				17.0			

試験規格 JIS A 1122

硫酸ナトリウムによる骨材の安定性試験（粗骨材）

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材							
試 験 日				令和 4 年 3 月 16 日			
試 料	種 類			7号砕石(S-5)			
	産 地			福井県坂井市丸岡町上久米田37字			
	採 取 日			令和 4 年 2 月 10 日			
	採 取 場 所			骨材堆積場			
ふるいの呼び寸法		ふるい分け試験		試験前の 各群の質量	試験後の 各群の質量	各群の損失 質量分率 $(1 - \frac{m_2}{m_1}) \times 100$	骨材の損失 質量分率
通る ふるい	とどまる ふるい	各群にとどまるもの		(g)	(g)	(%)	$\frac{① \times P_1}{100}$
(mm)	(mm)	質量	①質量分率	(g)	(g)	(%)	(%)
10	5	130.5	100	308	300	2.6	2.6
15	10	0.0	0	—	—	—	—
20	15	—	—	—	—	—	—
25	20	—	—	—	—	—	—
40	25	—	—	—	—	—	—
60	40	—	—	—	—	—	—
合 計		130.5	100	—	—	—	2.6

注) ①の質量分率が全質量の5%に満たない群のものについては試験をしないが、その群の前後における損失質量分率の平均値をもって その群の値とする。前後の群における試験値のいずれかが欠けているときは、欠けていないほうの群の損失質量百分率をとる。

試験規格 JIS A 1137

骨材中に含まれる粘土塊量の試験

試験担当者： 榎田 直也

粗 骨 材			
試 験 日		令和 4 年 2 月 18 日	
試 料	種 類	7号砕石(S-5)	
	産 地	福井県坂井市丸岡町上久米田37字	
	採 取 日	令和 4 年 2 月 10 日	
	採取場所	骨材堆積場	
試験前の試料の乾燥質量 (g)		m_{D1}	1059
試験後の試料の乾燥質量 (g)		m_{D2}	1059
粘土塊量 = $\frac{m_{D1} - m_{D2}}{m_{D1}} \times 100$ (%)		C	0.00

注1) 試験回数は、附属書Bによる。

